



フルーツパーク富士屋ホテル
 「新日本三大夜景」を堪能することができるフルーツパーク富士屋ホテル。甲府盆地の美しい夜景を眺めていると、ゆったりとした時間が流れていきます。

おいしいひとときを楽しんだ後は、甲府盆地が一望できる小高い丘の上に建つフルーツパーク富士屋ホテルへ。ゆつくりと温泉に入った後は、美しい夜景と星空を眺めながら、

R || リラックス
ビタミン
 ゆったりとした景色や風土に触れると、肩の力が自然と抜けてくる

好きなワインを選ぶ過程も楽しいですよ。ワインって、自分が軽くなる気がするんです。心も体も軽くなって、さあ、次に行くぞと前向きな気持ちになれる。今度はどこかでワインの仕込みも体験してみたいですね。

ゆったりとした時間を過ごしました。 「山梨って、せかせかしたところがなくて、景色も人もゆったりとした感じがします。盆地で遠くに山が見えるから、スケールがより大きく感じられるのかもしれないね。」
 中井さんは、必ず行きたい場所を一つ決めたら、後はその土地で出会った人にお薦めの場所や店を聞いて、自由に行動する旅が好きだとか。「でも、そもそもその土地に何があるのかわからないと、旅行に出かけることもないので、今回体験させていただいた『わたしの週末キレイ補給診断』は、旅に出かける一つの良ききっかけになると思います。」

豊かな自然、フルーツ、ワインやジュエリーなど、山梨が全国に誇れるものをAからZまでのビタミンにたとえ、都会の女性にPRする取り組み「ビタミンやまなし」。平成22年度のメッセンジャーを務めるのは、アナウンサーとして活躍する中井美穂さん。伝える力をパワーアップしたいと一泊二日で山梨を訪れた中井さんに、山梨が誇るビタミンをいっぱい補給していただきました。

I || 想像力
ビタミン
 作品からは隠れたメッセージが感じられ、感性が豊かになっていく



中村キース・ヘリング美術館
 作品に合わせた空間の演出も見所のひとつとなっている中村キース・ヘリング美術館。自然と調和した洗練された空間に、中井さんもイマジネーションを刺激されたようです。

翌日訪れたのは、北杜市小淵沢町の中村キース・ヘリング美術館。80年代に青春時代を過ごした中井さんにとって、懐かしい作品の数々が展示されていました。「当時は行く先々でキースの絵が飾られていた印象があります。人が常に揺れ動いているような作品からは、何か隠れたメッセージが感じられ、感性がより豊かになってい

わたしの週末キレイ補給診断
 実施期間は平成23年3月末まで!

山梨の「美」「健康」「癒し」情報を発信する「ビタミンやまなし」キャンペーンの公式HPでは、「わたしの週末キレイ補給診断」を行っています。診断を受けた方の中から、65組130名様に山梨県内の宿泊施設の宿泊券が当たるプレゼントキャンペーンを7月31日まで実施中です。



URL: <http://www.vitamin-yamanashi.jp/>
 わたしの人生に
ビタミンやまなしAtoZ

山梨を訪れると、眠っていた五感が目覚める感じがします

「ビタミンやまなし」のメッセンジャー
 やまなしブランド
 中井美穂さんが山梨でビタミン補給を体験



アナウンサー
中井 美穂さん

1965年ロサンゼルス生まれ。日本大学芸術学部を卒業後、87年フジテレビ入社。95年結婚を機に退社後、フリーアナウンサーに。テレビ朝日系「旅の香り」、MXテレビ「TAKARAZUKA~Cafe break~」等のレギュラー番組や「世界陸上」のメインキャスター、雑誌「STORY」（光文社）、フリーペーパー「TOKYO HEADLINE」、「スポーツ報知」での連載コラムの他、ラジオ、CM、イベントなど多方面で活躍中。



原茂ワイン
 養蚕農家だった築130年の母屋を店舗に改装した原茂ワイン。「ここは落ち着ける雰囲気、つい長居したくなってしまいますね」



豊富な自然、フルーツ、ワインやジュエリーなど、山梨が全国に誇れるものをAからZまでのビタミンにたとえ、都会の女性にPRする取り組み「ビタミンやまなし」。平成22年度のメッセンジャーを務めるのは、アナウンサーとして活躍する中井美穂さん。伝える力をパワーアップしたいと一泊二日で山梨を訪れた中井さんに、山梨が誇るビタミンをいっぱい補給していただきました。

W || ワイン
ビタミン
 身も心も軽くなり前向きな気分になれる

山梨には、大学の先輩である作家林真理子さんが主催する、桃の花を見ながら食事をする会で毎年訪れているため、親しみを持っていらっしゃる。ただ、一泊してゆつくりと過ごすのは今回が初めてとのこと。
 最初に訪れたのは、甲州市勝沼町の原茂ワイン。築130年の母屋を改装した店内で、ワインのテイステイングやランチを楽しみました。
 ワイン好きという中井さん。甲州ワインの印象は「和食と一緒にいただいて、こんなに合うんだと驚きました。普段は赤をよく飲むんですが、白の美味しさを再認識しました」とのこと。
 「ワイナリーで、造り手さんから直接、特徴や造り方などを伺いながら